ハビナース

T−1−400−S
T−1Lo−S

標準型車いす ホイールストッパー付き

●T−1−400−S　[自走式 背固定]
●T−1Lo−S　　[自走式 背折れ 低床]

取扱説明書

保証書付き

このたびは、ハビナース「標準型車いす ホイールストッパー付き」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書には、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。
ご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をよく理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。
なお、取扱説明書は、必ず大切に保管してください。

※写真はT−1−400−S

目　次

ページ

1. 主な特長……2
2. 各部の名称……2
3. 警告・注意マーク……3
4. 安全にお使いいただくために……3
5. 使用前の点検……6
6. 使用方法……7
7. お手入れの方法，点検……10
8. 保管方法……10
9. 仕様……11
10. アフターサービスについて……11
保証書……12

1. 主な特長

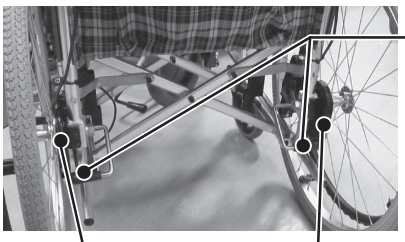
- シートから立ち上がると自動的にホイールストッパーが働き、車いすのブレーキが掛かります。車いすの駐車ブレーキを掛け忘れた場合、車いすが後方に下がることがなく安全です。
- 車いすを空で移動する時は後方のストッパー解除レバーを踏み込むことで、ホイールストッパーが解除されます。シート中央部に座るとホイールストッパーがリセットされます。
- アームサポートは幅が広く、アームサポートの内側に向けて傾斜しているので肘が安定します。

使用者適用体重

型　番	T−1−400−S	T−1Lo−S
適用体重	40kg以上	35kg以上

2. 各部の名称

〈車いす後側〉



※写真はT−1Lo−S

⚠注意	⃠調整機構部は触らないでください。ストッパー解除レバーが動かなくなる恐れがあります。

3. 警告･注意マーク

製品を安全にお使いいただき、使用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
取扱いの誤りによって、発生する恐れのある危険に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告　**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。**

⚠ 注意　**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。**

⚠ 警告･注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠ 禁止の行為であることを告げるものです。

❗ 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

4. 安全にお使いいただくために

次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。

⚠ 注意

■ホイールストッパーの注意

⚠ ホイールストッパーは使用者の体重が適用体重の範囲で作動します。
適用体重に満たない場合はストッパーの動作状況をご確認の上､ご利用ください。

❗ 車いすに座る時､シートの前方部分に浅く座るとホイールストッパーは解除されません。
ご使用の前に､シートに座りホイールストッパーが解除されることをご確認ください。

❗ シートに手をつくと、 座る前にホイールストッパーが解除される恐れがあります｡シートに手をつかないで座ってください。

⚠ ご使用になるクッションの種類により､ホイールストッパーが作動しない場合があります。

使用できないクッション	• ウレタンクッションの厚さが50mm以上のもの。 • 5kg以上の重いクッションまたはジェル・ウォーター入りクッション他。 • クッションの下面に硬いボードが入っているもの。

⚠ 警告

❗ 停車時は､駐車ブレーキを必ず掛けてください。

❗ ホイールストッパーは、駐車ブレーキを掛け忘れたときの補助ブレーキです。
道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

（次ページへ）

（前ページより）

❗ 使用される方の症状や状態で、座面中央部に着座しないことにより、ホイールストッパーが十分に解除せず、走行に支障をきたすことがあります。同様の理由で、立ち上がり時にホイールストッパーが十分に作動しない場合があります。その場合、使用を中止していただくか、あるいは、着座位置が中央部になるように調整していただき、ホイールストッパーが解除されることを確認してください。

❗ 車載時に固定フックを座面下のユニットに掛けないでください。無理な負担が加わり破損に繋がる恐れがあります。

⚠ 警告

■走行時の注意

⊘ 「標準型車いす ホイールストッパー付き」は一人用に設計されています。二人以上で使用しないでください。　**使用者最大体重（積載物を含む）100kg**

⊘ スピードを出さないでください。スピードが出ている時の急カーブ・急ブレーキは転倒し大変危険です。

❗ 急な下り坂で介助をする時は、後ろ向きにゆっくり下りてください。

❗ 走行中は、足を必ずフットサポートの上に乗せて走行してください。

⊘ 走行中は、身体を乗り出さないでください。走行の安定を損ない危険です。

⚠ 傾斜地での走行は、車いすが予想外の方向に進むなど、大変危険です。

⊘ バックサポートや手押しハンドルに重いものなどを掛けないでください。

⚠ 夜間や雨天時には、通行者や車から発見しにくくなりますので十分にご注意ください。

⚠ 回転している車輪に指を挟まないように注意してください。

⊘ タイヤを持って車輪を操作しないでください。駐車ブレーキに指を挟み危険です。

⚠ 警告

■介助時の注意

⊘ 暖房器具に本体を近づけないでください。シート部が燃えたり、熱くなった金属部分でやけどする、またタイヤの空気が膨張しパンクするおそれがあります。

⚠ 踏み切りを横断する際の溝や踏み切りの路線による落輪、歩道の段差での転落には十分注意してください。

⊘ 介助者は、車いすに乗って介助しないでください。

⚠ 介助者は、使用者の身体の一部や衣服がタイヤ、スポーク、キャスター及び地面・建物、通行者に触れたり挟まったりしないよう、車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。

⊘ シート以外に腰掛けないでください。

⚠ 認知症の方の場合は、部品などを飲み込むことが考えられますので十分ご注意ください。

⚠ 注意

■保守･点検の注意

❗ 車いすに水がかかった場合は、直ちに拭き取り可動部に注油を行ってください。

⃠ 後車輪のドラムブレーキ部分には、注油しないでください。ホイールストッパーの機能が働かなくなり、十分なブレーキ性能が出なくなります。

❗ 使用する前に後車輪、前輪キャスター、駐車ブレーキなどのネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。

⃠ 改造・分解はしないでください。強度や耐久性が低下して危険です。

⃠ 路面に段差や凹凸のあるところ、湿気の多いところ、雨風の当たるところに車いすを放置しないでください。

❗ ご使用中に、異常を感じたらすぐに使用を中止してください。

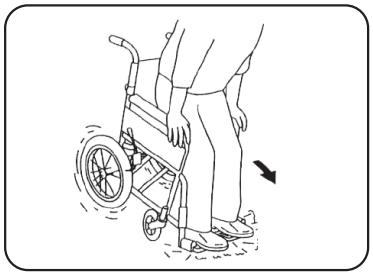
⚠ 注意

■停止時の注意

❗ 停止時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。

⚠注意	❗ **停止時は、駐車ブレーキを必ず掛けてください。 ホイールストッパーは、駐車ブレーキを掛け忘れた時の補助ストッパーです。**

■移乗時の注意



❗ 移乗する時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。

⃠ 移乗する時は、駐車ブレーキレバーに体重をかけないでください。

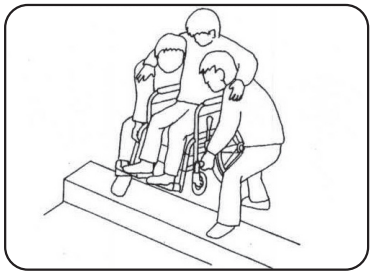
❗ 移乗する時は、フットサポートを跳ね上げてから行ってください。

また、跳ね上げたフットサポートに足が当たらないよう、注意してください。

⚠注意	⃠ **フットサポートの上には乗らないでください。**

■段差乗り越えの注意

❗ 使用者を乗せたまま車いすを持ち上げるときは、使用者の上半身を支え、シートより下のフレームを両側からしっかり持ってください。



5. 使用前の点検

使用前に次の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や違和感を感じた時は、絶対に使用せずお買い上げの販売店または、ピジョン(株)お客様相談室、ピジョンタヒラ(株)にご連絡ください。

①後車輪タイヤの空気圧の確認

適正空気圧　　300ｋPa(3㎏f/㎠)

目安として、タイヤを手で押してやや硬い程度に空気を入れてください。

②駐車ブレーキの作動確認

駐車ブレーキレバーを操作し、ブレーキが掛かることを確認してください。

⚠注意	❗後車輪タイヤの空気圧が少ないと、駐車ブレーキが掛からない場合や、掛かりが悪くなる場合がありますので、空気圧には十分注意してください。

③ホイールストッパーの作動確認

1) 車いすのシートに使用者が乗っていない状態で、前後に動かないことを確認してください。

2) 使用者がシートに座った時に、ホイールストッパーが解除される（左右のストッパー解除レバーが上がっている）ことを確認してください。

3) 使用者がシートから立ち上がった時にホイールストッパーが働き、車いすが前後に動かないことを確認してください。

4) ストッパー解除レバーを踏んだ時、ホイールストッパーのブレーキが解除されることを確認してください。また、ストッパー解除レバーを踏んだ状態でシートに座った時、ストッパー解除レバーが跳ね上がり、ブレーキが解除されていることを確認してください。

④消耗品、交換部品の確認

それぞれの部品が交換時期になった時は、早めに交換してください。
新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店または、ピジョン(株)お客様相談室、ピジョンタヒラ(株)にご連絡ください。

消耗品･交換部品

品　　名	交　換　時　期
後　車　輪　タ　イ　ヤ	※タイヤ表面に溝がなくなったとき。
前　輪　キ　ャ　ス　タ　ー	しっかり取り付けていてもガタガタするとき。
シ　　ー　　ト	ほつれ、切れ目が発生したとき。ひどく汚れたとき。

※❗後車輪のタイヤ及びチューブ交換時は、本体から後車輪を取り外さずに行ってください。

6. 使用方法

（1）開封

梱包内容を確認してください。

①本体

②付属品（1式）

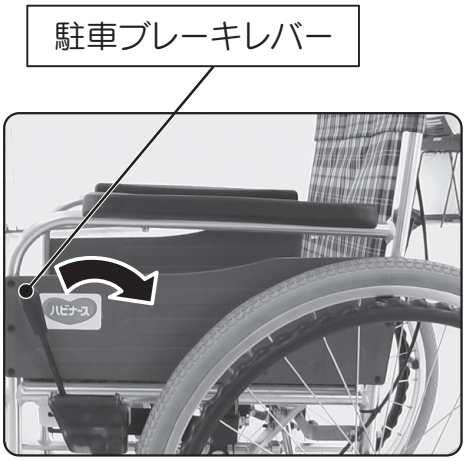
{スパナ（2本）、六角レンチ…3本(5mm,4mm,3mm)、
取扱説明書（1冊）}

（2）使用方法

① ブレーキの掛け方、解除の方法

1）駐車ブレーキ

停止時は必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。
駐車ブレーキレバーの操作は、ブレーキレバーが
止まる位置まで確実に行ってください。



**駐車ブレーキレバーを矢印の方向に引くと、
ブレーキが掛かり、もどすと解除されます。**

⚠注意	❗目安として、タイヤを手で押してやや硬い程度に空気を入れてください。 後車輪タイヤ空気圧が低すぎるとブレーキの効きが悪くなります。

2）ホイールストッパーの取扱い方法

使用者が車いすから立ち上がると、ホイールストッパーが働き、後車輪にブレーキが掛かります。

⚠注意	❗停止時は、駐車ブレーキを必ず掛けてください。 ホイールストッパーは、駐車ブレーキを掛け忘れた時の補助ブレーキです。

⚠注意	❗シート中央部にきちんと体重が掛かるように座ってください。 本製品はシート中央部にて着座を感知します。

3）ホイールストッパーの解除の方法

シート中央部に座ると自動的にホイールストッパーが解除され、ストッパー解除レバーが跳ね上がります。

車いすのシートに使用者が乗っていない状態で移動するときは、後方左右のストッパー解除レバーを踏んでください。

ホイールストッパーが解除され、車いすを移動することができます。

②バックサポートの起こし方（T－1Lo－Sのみ）

バックサポートはロックされるまで起こしてください。
ワイヤーやシートなどをバックサポート固定部にはさみ込まないように注意してください。

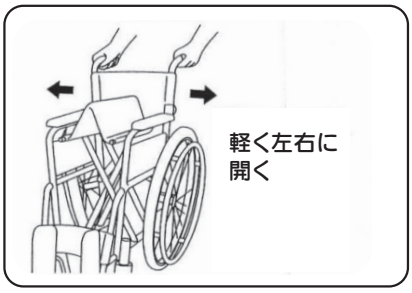
⚠注意	⃠バックサポートを起こす、たたむ操作は、使用者が乗った状態では絶対に行わないでください。背折れジョイントで身体または、身体の一部や衣服をはさむなどしてケガをしたり、衣服が損傷する恐れがあります。

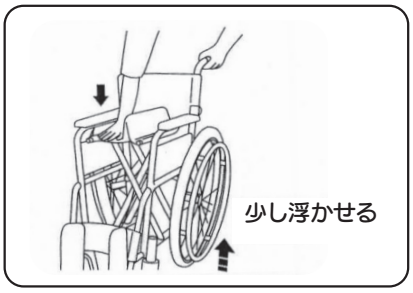
③バックサポートのたたみ方（T－1Lo－Sのみ）

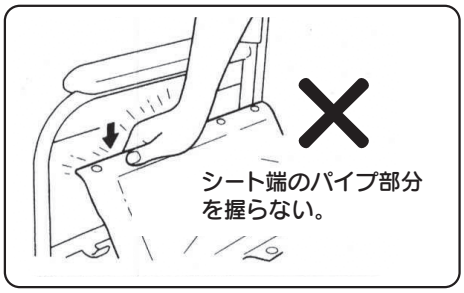
手押しハンドルを握り、一方の手で背折れジョイントのレバーを後方へ引きながら手押しハンドルを倒します。

④車いすの開き方

1）駐車ブレーキのレバーを引いて駐車ブレーキを掛けてください。
2）押し手ハンドルを軽く持ち左右に開きます。
3）片側の車輪を浮かせて浮いていない方のシート端のパイプ部分を上から手で押します。



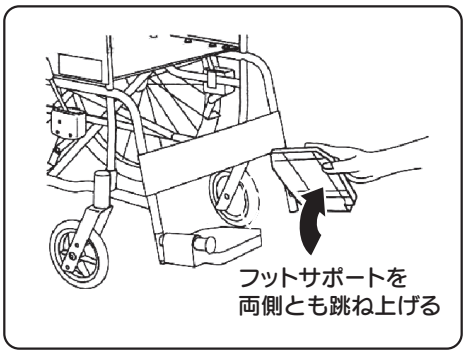




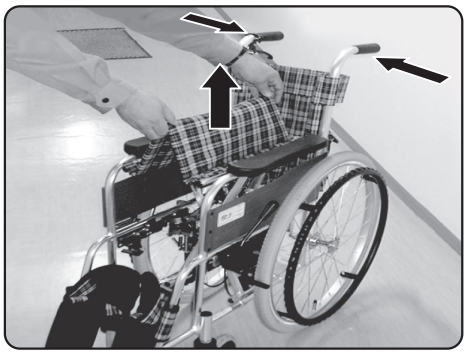
⚠注意	⃠ シート端のパイプを握らないでください。手がはさまれ危険です。

⑤車いすのたたみ方

1）フットサポートを跳ね上げ、シートの前方と後方の中央部を同時に持ち上げます。



2）手押しハンドルを持って、左右から押し縮めるように折りたたみます。

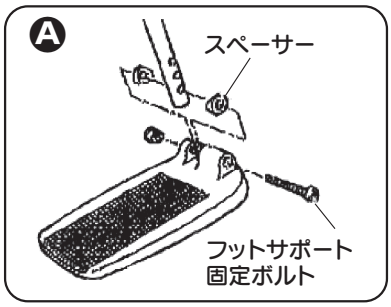


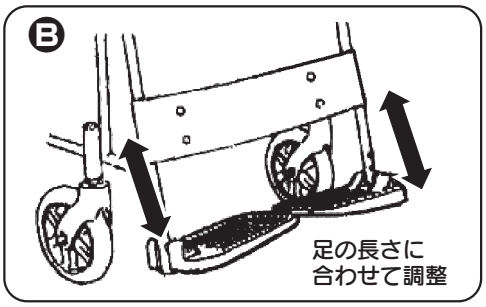
⑥フットサポートの高さ調節

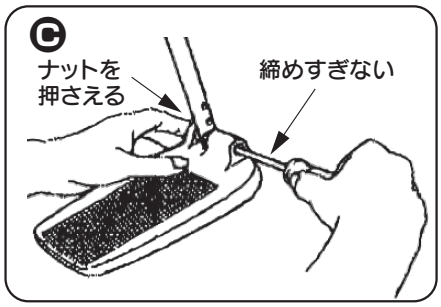
1）駐車ブレーキレバーを引いて駐車ブレーキを掛けてください。

2）フットサポート固定ボルトを外します。このときフットサポートは下ろした状態にします。
フットサポート固定ボルトを外すときは反対側のナットを指で押さえておきます。
フットサポート固定ボルトが空回りをはじめたらフットサポートをかたむけてください。
フットサポート固定ボルトを取りやすくなります。（図Ⓐ）

3）足の長さに合わせてフットサポートの高さを調整します。（図Ⓑ）
（本製品は20mm間隔で3段階の調整ができるようになっています）
フットサポートの穴とパイプの穴位置を合わせて、そこへフットサポート固定ボルトを挿入してください。
フットサポートは片手で動かせるくらいの硬さを目安に取り付けてください。この時、フットサポート固定ボルトを締めすぎないように注意してください。（図Ⓒ）

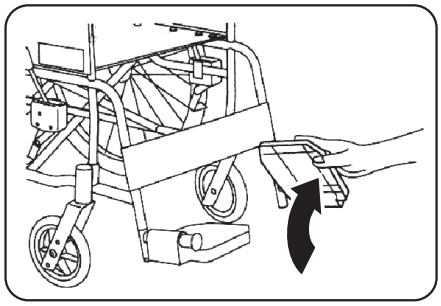






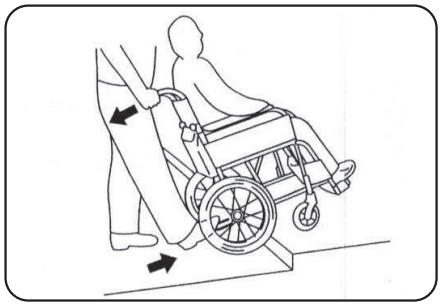
⑦フットサポートの取扱い方法

フットサポートは、手動で簡単に外側に跳ね上げができます。介助のさまたげになる時は、跳ね上げてください。



⑧段差乗り越えの方法

足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出しながら、押し手ハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。



⚠注意	⃠無理な力による段差乗り越えはしないでください。フレームの破損につながります。

⚠注意	⃠フットサポートの先端を段差、障害物に当てないようご注意ください。

7. お手入れの方法、点検

①本体フレームのお手入れ

●本体フレームの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。
拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。

●水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

②手押しハンドルなどのプラスチック部品のお手入れ（シート、バックサポート、アームサポート）

●プラスチック部品の汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。

⚠注意	⊘ シンナー、ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。製品を痛める恐れがあります。

③後車輪タイヤの空気圧の確認

●空気圧が低すぎると駆動が重くなり、また駐車ブレーキの効きが悪くなります。

④後車輪タイヤの溝の確認

●後車輪タイヤの減りが激しいものはパンクの原因になります。また、走行性や駐車ブレーキの効きが悪くなるので交換が必要です。

⑤走行性の確認

●まっすぐ進まない場合、どこかが歪んでいる可能性があります。お買い上げの販売店または、ピジョン（株）お客様相談室、ピジョンタヒラ（株）にお問い合わせください。

⑥駐車ブレーキ動作確認

●定期的に駐車ブレーキのリンク部に注油を行ってください。注油の際、ホイールストッパーのドラムブレーキ部分に油がつかないようご注意ください。

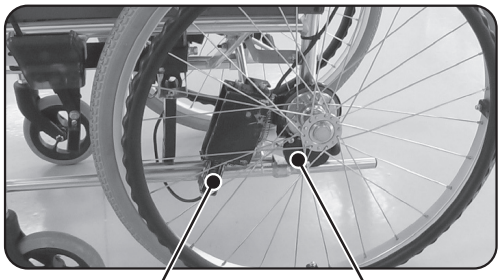
⑦シートの確認

●車いすは湿気に弱いので、雨でぬれる場所などに放置したり、長期間続けてご使用になるとシートに破損、たるみが発生します。適度な座り心地が保ちにくくなりますので、破損、たるみが著しい場合は交換をおすすめします。

⑧ホイールストッパーの確認

●バネがきしむ音がする場合は、バネに注油を行ってください。注油の際、ドラムブレーキ部分に油がつかないようご注意ください。
十分なブレーキ性能が出なくなります。

●シートに座ったとき、ホイールストッパーのストッパー解除レバーが跳ね上がらなくなった場合は、ワイヤーの調整が必要です。すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店または、ピジョン（株）お客様相談室、ピジョンタヒラ（株）にお問い合わせください。



⑨各部ネジの確認

●後車輪タイヤ、前輪キャスター、駐車ブレーキなどのネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。ホイールストッパーのネジは調整しないでください。

8. 保管方法

①収納スペースが少ないときは、車いすをたたんで保管してください。

②錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の多い場所や室温が上がる場所には保管しないでください。

9. 仕様

項目		仕様	
型番		T−1−400−S	T−1Lo−S
使用者適用体重		40kg以上	35kg以上
材質	フレーム	アルミ(アルマイト処理)	
	シート	ナイロン(シート･バックサポート･レッグサポート)	
寸法(mm)	前輪キャスター×後車輪	6×22 インチ	6×20 インチ
	前座高	435	375
	後座高	410	350
	座幅	400	
	奥行	400	
	バックサポート高	380	
	アームサポート高	220	
	手押しハンドル高	840	
	全幅	630	
	全高	860	
	全長	990	945
	折り畳み幅×高×長さ	340×860×990	340×735×945
重量(kg)		16	16.1

10. アフターサービスについて

この商品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買い上げの販売店または、ピジョン(株)お客様相談室、ピジョンタヒラ(株)へお申しつけください。

修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この商品の品名および故障状況をくわしくご連絡の上、お申しつけください。転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、ピジョン(株)お客様相談室、ピジョンタヒラ(株)にお問い合わせください。

商品の保証について

(1) 保証内容につきましては、裏面の保証書をご覧ください。

(2) 保証期間終了後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

ピジョン株式会社
〒103-8480　東京都中央区日本橋久松町4-4
(お客様相談室) TEL 03(5645)1235
受付時間　9時～17時(土･日･祝日を除く)
ピジョンホームページは
http://pigeon.info/

ピジョンタヒラ株式会社
〒165-0021　東京都中野区丸山2−5−19
TEL 03(5373)6711(代表)
受付時間　9時～17時(土･日･祝日を除く)
ピジョンタヒラホームページは
http://www.tahira.co.jp

保　　証　　書

商品名　標準型車いす　ホイールストッパー付き

型　式　T－1－400－S, T－1Lo－S

1. 本書は、本書記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中に故障が発生した場合は､本書をご提示のうえ､下記販売店に修理をご依頼ください。
2. 保証期間は、お買い上げ後1年間です。
3. 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った「正常な使用状態」において故障した場合には、無償修理をいたします。ただし、キャスター・タイヤの摩耗やシートの破れなど、交換時期となった取扱説明書記載の消耗品・交換部品は除きます。
4. 保証期間内でもつぎの場合は有償修理になります。

(1)　使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(2)　お買い上げ後の落下等による故障および損傷
(3)　火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変による故障および損傷
(4)　一般家庭・施設・病院用以外に使用された場合の故障および損傷
(5)　本書の提示がない場合
(6)　本書にお買い上げ年月日、お客様のお名前、ご住所の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。

ピジョン株式会社
〒103-8480　東京都中央区日本橋久松町4-4
（お客様相談室）TEL 03(5645)1235
受付時間　9時～17時(土･日･祝日を除く)
ピジョンホームページは
http://pigeon.info/

ピジョンタヒラ株式会社
〒165-0021　東京都中野区丸山2－5－19
TEL 03(5373)6711(代表)
受付時間　9時～17時(土･日･祝日を除く)
ピジョンタヒラホームページは
http://www.tahira.co.jp

下記※印欄にご記入のない場合は無効となります。必ずご記入ください。

お 客 様	※販売店
ご住所 〒　　－	
お電話　　－　　－	
お名前　　様	
※お買上げ年月日　　年　　月　　日	（お買い上げ時のレシート添付でも有効）